

事業番号 2022 - 総務 - 21 - 0141

令和4年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	5G高度化等に向けた国際連携推進事業			担当部局	国際戦略局		作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官室		参事官 菱田 光洋		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	電波法第103条の2第4項第3号			関係する計画、通知等	Beyond5G推進戦略-6Gへのロードマップ-(令和2年6月30日) 総務省海外展開行動計画2020(令和2年4月30日)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	5Gの高度化等に関する最新の国際動向の情報共有や、我が国における取組状況を国際的に発信すること等により、産学官の取組の加速化と国際連携を促進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各国政府関係者、5GさらにはBeyond5Gに向けた取組をリードする国内外の企業、国内外の有識者、国際機関の関係者、研究機関などが参加する国際カンファレンスを開催し、5Gの高度化等に関する最新の国際動向の情報を共有するとともに、我が国における取組状況を国際的に発信する。また、海外での見本市等における出展を通じ、我が国企業のプレゼンスを一層向上させるとともに、我が国が強みを持つ技術を効果的に発信することにより、国内外の主体間の連携を強化する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	196	248	196		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	0	196	248	196		
	執行額				129				
執行率(%)		-	-	66%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	66%					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	電波監視等業務庁費	245	193						
	電波監視等業務旅費	3	3						
	計	248	196						
活動内容 (アクティビティ)	各国政府関係者、5G更にはBeyond 5Gに向けた取組をリードする国内外の企業、国内外の有識者、国際機関の関係者、研究機関などが参加する国際カンファレンス及び国際標準化会合を開催し、5Gの高度化等に関する最新の国際動向の情報を共有するとともに、我が国における取組状況を国際的に発信する。また、海外での見本市等における出展を通じ、我が国企業のプレゼンスを一層向上させるとともに、我が国が強みを持つ技術を効果的に発信。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	国内外の主体間の連携を強化	国際カンファレンス等の開催数及び見本市における出展支援企業数	活動実績		-	-	5		-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	国際カンファレンス等開催、出展支援関係執行額/カンファレンス等参加国、出展支援企業数			単位当たりコスト	-	-	1.5	2.5	
				計算式	/	-	-	88/58	197/78
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 年度
	5G及びBeyond5G分野における官民の国際連携の強化及び我が国企業のプレゼンス向上	5G/Beyond5G分野に関する覚書締結数	成果実績		-	-	1		
			目標値		-	-	1	2	
			達成度	%	-	-	100		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	V. 情報通信 (ICT政策)		
	政策評価	施策	5. 電波利用料財源による電波監視等の実施	政策評価書 URL	https://www.soumu.go.jp/main_content/000766421.pdf
				該当箇所	3ページ目
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-		
該当箇所			-		
事業所管部局による点検・改善					
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	政府、企業、機関等における国際的な連携を進めるためのものであり、国際的な連携により我が国企業の市場環境の整備やプレゼンス向上に繋がり、5G等の国際競争力の強化に資するものであることから、社会ニーズに合致している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	5G高度化等に向けて真に国際的な連携を進めるためには、関係機関、企業間等のみならず、各国政府関係者と政府間での調整が必要であり、国が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は、電波法第103条の2第4項第3号に定める規定に基づき実施するものであり、適切な達成手段であると言える。また、世界規模で起きている社会全体の急速なデジタル化の動きに取り残されないよう積極的に実施する必要がある。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	少額随意契約の場合は複数業者から見積りを取得し、最も経済性に優れた事業者を選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	我が国のプレゼンスを向上させていくためには、国が取り組みを主導する必要がある。国際カンファレンスのような国際連携体制構築の場を国が設定することで、Beyond 5G推進を加速させていくものであるところ、カンファレンス等の会場設営・運営は総務省の負担とし、会合の核となるコンテンツの提供(各種講演、展示物の作成・提供等)は民間企業や研究機関等、各参加者が負担しており妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	価格と品質等の観点から、競争入札により最も優れた提案者を選定しており、少額随意契約の場合にも複数業者から見積りを取得しているため、単位当たりコストの水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	実施案件については、項目毎の単価や必要性について精査を行っている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	不用率が大きい理由について、カンファレンス等の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の蔓延が継続している中で、オンラインでの参加者が想定よりも多く、当初見込んでいた海外からの招聘者や国内の一般客等の来場者数に到達しなかったこと、旅費・謝金等についても招聘者の中で辞退される方が複数人いたことにより、実費精算部分の経費に乖離が生じた。 その妥当性については、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況をあらかじめ判断することはできず、想定外の事態となり、やむを得ず規模を縮小せざるをえなかったところ、可能な範囲での対応となったことから、妥当であると考えられる。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	事前に複数業者から見積りを取得し、コストの削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	5Gの高度化等に関する最新の国際動向の情報を共有するとともに、我が国における取組状況を国際的に発信し、我が国企業のプレゼンス向上に寄与している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	効率的な予算の執行により、会議開催による広報等当初の見込み以上の活動実績を上げることができている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
点検・改善結果	点検結果	予算執行に当たっては、少額の随意契約以外は一般競争入札により効率的に執行するとともに、請負の内容を精査し、優先度の高い項目で実施する等努めた。			
	改善の方向性	令和4年度執行分について、更なる経費の効率化を図るため、案件の精査・経費の見直し等を引き続き徹底する。			
外部有識者の所見					
アウトカムは事業が目的を達成した状態を表すもので、「成果目標及び成果実績」は情報共有、国際的発信、産学官の取組加速化、国際連携、という事業目的の達成度を表す指標を使う必要があり、国際カンファレンスに参加した国の数が多くても、どれほど情報共有や情報発信に成功したかはわからない。アウトカムではなくアウトプットと考えるべきである。部局点検項目の競争性については、特に1者入札高落札率となった72百万円の調達について、競争性のない調達となった理由と改善策について説明が必要である。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	所見を踏まえ、アウトカムの内容を「国際カンファレンスの参加国数」から「5G/Beyond5G分野に関する覚書締結数」に修正。1者応札の原因については分析を行い、競争性のある形で調達が行われるような改善策の実施に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
令和2年度	総務省	新03	0012		
令和3年度	2021	総務	新21	0007	
<p>※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 総務省 129百万円 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">↓</div> <p>請負【一般競争契約(総合評価等)】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 民間企業等(3社) 129百万円 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">⎵</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 会議開催、調査研究の請負等 </div> </div>					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)					

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.株式会社野村総合研究所			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	請負費	5Gの高度化に関する周辺動向についての調査及び技術的検討の請負について	72	-	-	-
計		72	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	5Gの高度化に関する周辺動向についての調査及び技術的検討	72	一般競争契約 (総合評価)	1	99.9%	-
2	株式会社オーエムシー	9011101039249	「5G高度化に向けた第1回国際カンファレンス(仮)」開催に係る事務の請負	40	一般競争契約 (最低価格)	4	99.9%	-
3	株式会社オーエムシー	9011101039249	Beyond5G国際カンファレンス2021のサイドイベント開催のためのWeb会議システム及び音響設備の運用に係る請負	1	随意契約 (少額)	-	-	-
4	一般社団法人電波産業会	7010005016769	5Gの高度化に向けた国際連携の推進のための国際ワークショップ等の開催事務	15	一般競争契約 (最低価格)	1	89.1%	-